



第5次国見町振興計画（後期計画）

～国見町民であることに喜びと誇りを持ち、心あわせて希望に満ちた未来を創るまち～

地域資源を活かしたまち

人が輝くまち

交流と連携のまち

平成28年3月

福島県国見町

～目次～

第1章 基本構想

1 計画の趣旨	1
2 将来の見通し	2
3 計画の位置づけ	4
4 計画の構成と期間	5
5 基本理念と将来像	6
6 5つの基本目標	7
7 計画の特徴	10
8 住民の参画	11
9 地域の活動	12

第2章 基本計画

3つの政策・30の施策	13
未来への投資「人が主役キラキラくにみ」の実現に向けて	14

I 地域資源を活かしたまち～里まち・活力のまち・巡りのまち～

【里まち】

1 自然環境・環境にやさしい生活の推進	15
2 快適な生活・魅力ある居住環境の形成	16
3 交通体系の充実	17
4 地域の資源を活かした魅力ある景観の形成	
5 総合的・計画的な土地利用の推進	

【活力のまち】

6 農業の振興	18
7 商工業の振興	
8 事業者の雇用の確保	19

【巡りのまち】

9 国見町の特産品の開発と振興	20
10 国見町の資源を活かした観光振興	
11 歴史や文化財の保護と活用	21

II 人が輝くまち～思いやりのまち・人づくりのまち・生涯活躍のまち～

【思いやりのまち】

1 子育て支援の充実	22
2 健康づくり・地域医療の充実	23
3 高齢者支援の充実	24
4 障がい者支援の充実	
5 地域福祉の充実	25

【人づくりのまち】

6 幼児教育の充実	
7 義務教育の充実（生き抜く力の育成）	
8 青少年の健全育成（学びと交流）	26

【生涯活躍のまち】

9 生涯学習の推進	27
10 文化活動とスポーツの振興	

III 交流と連携のまち～安心安全のまち・つながるまち・維持発展するまち～

【安全安心のまち】

1 消防・防災の充実	28
2 交通・防犯の推進	29
3 震災・原子力災害からの復興	

【つながるまち】

4 自助・共助の醸成（コミュニティ活動の推進）	
5 町民参加のまちづくり	30
6 交流の推進	

【維持発展するまち】

7 町民に信頼される行政運営	31
8 健全な財政の確立	
9 広域行政	32

*用語の説明	33
--------	----

*計画策定の経過	36
----------	----

第1章 第5次国見町振興計画（後期計画） 基本構想

1 計画の趣旨

国見町は昭和29年(1954年)3月31日に藤田町、小坂村、森江野村、大木戸村、大枝村の1町4ヶ村が合併して誕生しました。平成26年(2014年)には、国見町は60周年を迎えました。

国見町では、これまで第1次計画(昭和51年度～昭和60年度)、第2次計画(昭和61年度～平成5年度)、第3次計画(平成6年度～平成12年度)、第4次計画(平成13年度～平成22年度)と4次の振興計画を策定し、『豊かで住みよいまち』を目指し、町内の社会資本の整備を強力に推進しました。

計画名	基本目標
第1次国見町振興計画	明るく豊かで住みよいまち 緑に囲まれた町造り
第2次国見町振興計画	明るく豊かで住みよいまち
第3次国見町振興計画	豊かで住みよい活力ある町づくり
第4次国見町振興計画	豊かで住みよい活力ある町づくり 心豊かな人にやさしいまちづくり

しかし、時代の変化とともに町民の減少や少子高齢化といった人に関わる問題、地球温暖化や異常気象の環境問題、国家的な財政危機に対する問題等、多くの課題に直面しています。また、核家族化の進行や地域での結びつきが薄くなるなど、町民の生活も大きく様変わりしています。

さらに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、国見町においても最大震度6強を観測し、大きな被害を受けるとともに、その後発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射線被害による生活不安や風評被害など深刻な影響を受けました。

先人達が築き上げてきた国見町の資源を次世代に引き継ぐためには、安易に他の要因に依存することなく、町民自身の自主・自立の意識を高め、「町民による自助（自分でできることは自分です）」、「地域による共助（隣近所や友人、知人とお互いに助け合う）」、「行政の公助（行政でなければできないことは、行政がしっかりする）」などの役割分担を持つことが必要です。

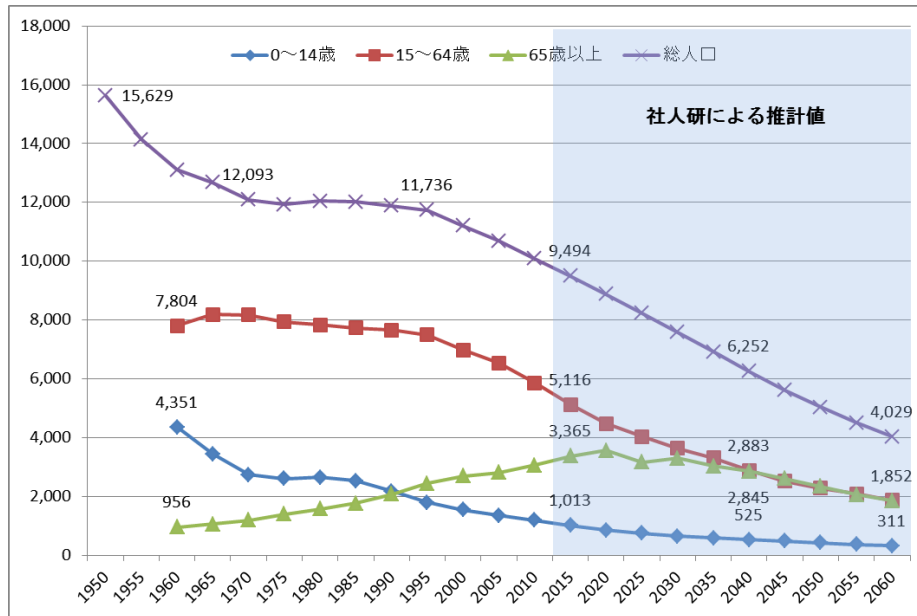
また、地方分権の推進、参画と協働によるまちづくりへの期待など、市町村を取り巻く状況も大きく変化しています。

この計画における「国見町」とは、単に行政単位としての国見町を指しているわけではではありません。なぜなら、この振興計画は行政のための計画ではないからです。この計画における「国見町」とは、国見町の区域を指すとともに、国見町を構成する町民の方々を指しています。自らでできることは自らがいき、地域でできることは互いに助け合うことが自治の基本です。国見町が自立した自治体として何をなすべきかを決めるのは自治の主体である町民自身の手によらなければなりません。この計画が目指すビジョンを達成するためには、町民ひとりひとりが主役となって、心あわせ、力をあわせる必要があります。

2 将来の見通し

<国見町の人口推移>

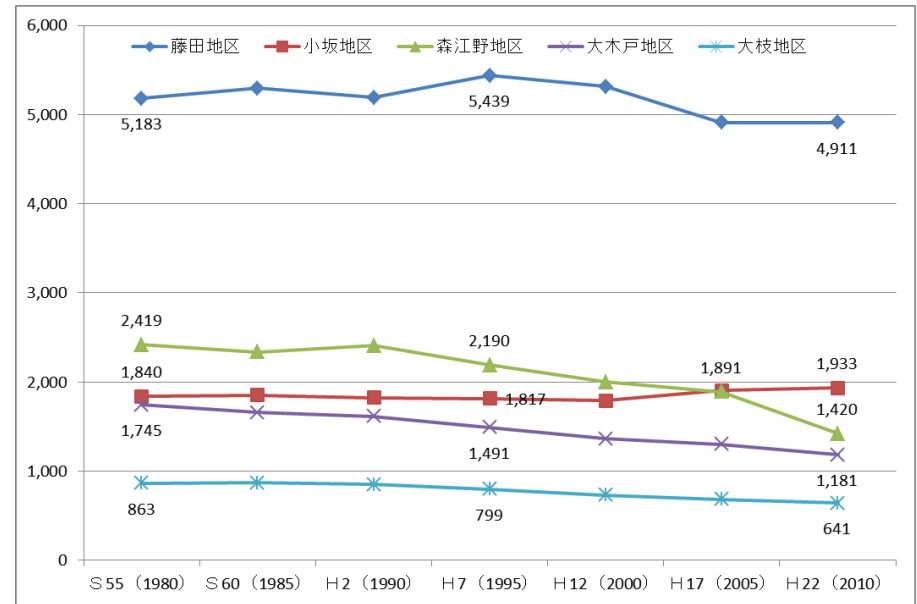
国見町の総人口は9,345人（H27.10.1現在）です。国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、総人口は毎年約120人程度減少し、平成32年（2020）には約8,900人、平成52年（2040）には約6,300人になると予測されています。



[国見町の年齢3区分別人口の推移（出典：人口ビジョン）]

<地区別人口の推移>

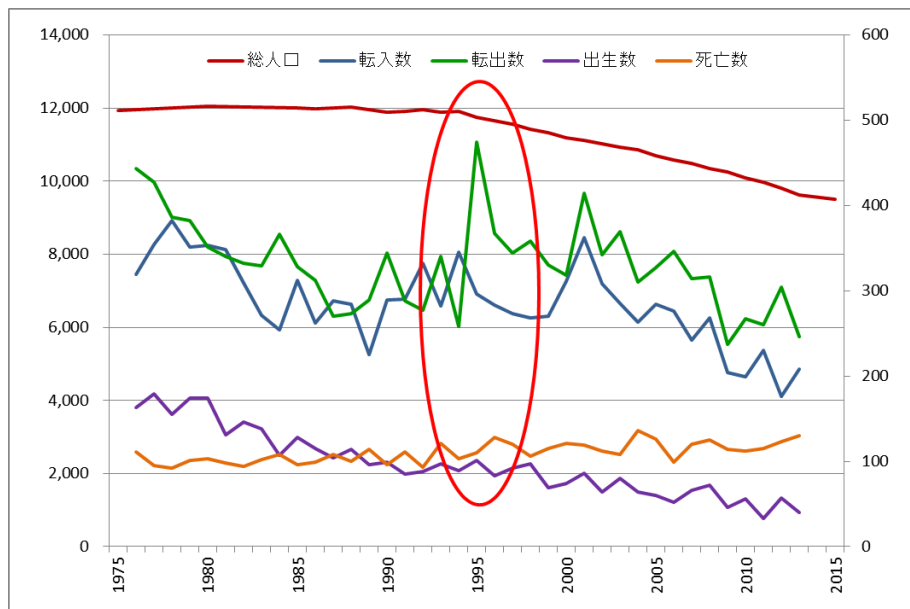
平成2年（1990）以降、出生数が死亡数を下回る「自然減」の状況、また、平成10年（1998）以降、転出数が転入数を上回る「社会減」の状況が続いており、人口減少が進んでいます。



[国見町地区別人口の推移（出典：人口ビジョン）]

<自然動態（出生・死亡）と社会動態（転入・転出）>

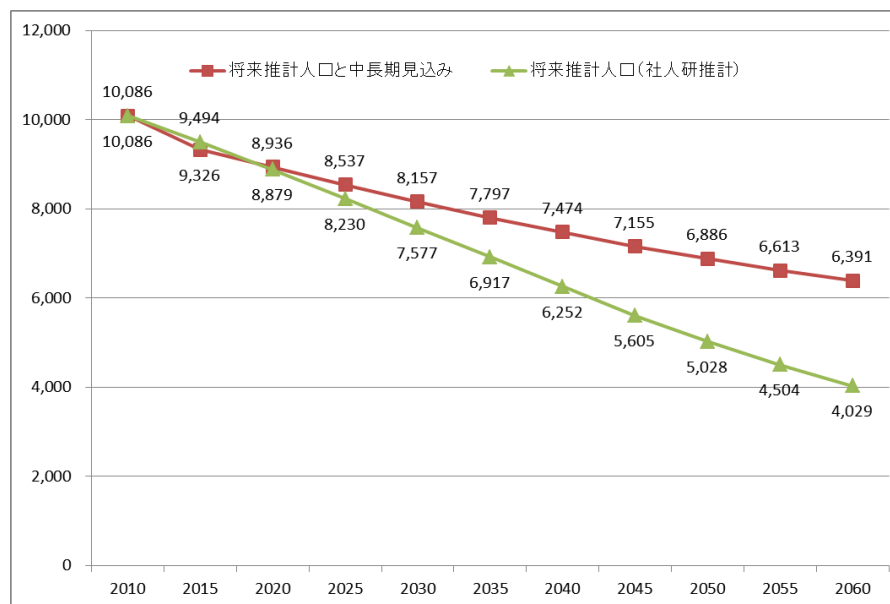
各地区の人口の推移をみると、藤田地区は横ばい、小坂地区は微増、大木戸・大枝地区は減少、森江野地区は減少幅が大きくなっています。



[国見町の自然動態・社会動態と総人口の関係 (出典：人口ビジョン)]

<国見町の将来推計人口>

人口減少対策を講じて、平成52年(2040)時点で合計特殊出生率「2.07」、生産年齢人口割合50%維持、社会増減±0を目標に国見町の維持・発展を目指すことにより、国見町の将来推計人口は、平成52年(2040)時点で7,474人、平成72年(2060)時点で6,391人と見込まれます。



[将来推計人口の見込みと社人研推計との比較 (出典：人口ビジョン)]

3 計画の位置づけ

振興計画 [28年度～32年度]

基本構想

基本理念

「国見町民であることに喜びと誇りを持ち、心あわせて希望に満ちた未来を創るまち」

将来像

「心あわせ希望に満ちた豊かで生きがいのある国見町」

基本目標

地域の資源を活かし、
自然と調和したまち

互いに支え合い、
安心して暮らせるまち

生きがいをもって、
いつまでも楽しく働けるまち

地域の資源を受け継ぎ、
心豊かな人を育むまち

あたたかく助けあう
自主自立のまち

基本計画（政策・施策・事業）

I. 地域資源を活かしたまち

II. 人が輝くまち

III. 交流と連携のまち

まち・ひと・しごと創生総合戦略 [27年度～31年度]

まちづくり基本計画 [25年度～32年度]

各分野別計画

発見『まるごと国見町』
地域資源を活かした地域ブランド・
コミュニティビジネス創出によるしごとづくり

恵まれた自然を活かしきる。
キラキラの再発見

歴史的風致維持向上計画
(27～36年度)

発信『一度来たら好きになる国見町』
町の魅力を活かした歴史文化観光・
農業観光により地域交流づくり

子どもたち。人づくり。
つながるまちづくり。

子ども・子育て支援事業計画
(27～31年度)

発達『住むなら国見町』
地域力を活かした結婚・出産・子育て支援・
教育推進のネットワークづくり

町民と行政の連携。
新しい公共機能

教育ビジョン
(25～32年度)

地域福祉計画
(26～30年度)

発展『立ち寄るなら国見町』
地の利を活かした人が行き交う
地域交流の拠点づくり

未来への持続可能性

健康増進計画
(26～35年度)

第7次高齢者福祉計画・
第6期介護保険事業計画
(27～29年度)

4 計画の構成と期間

これまでの振興計画は、基本構想と基本計画の期間をおおむね10年間に設定していましたが、社会・経済情勢や自治体をめぐる環境が大きく変化していることから、基本構想の期間は10年間としますが、基本計画の期間は5年間とし、中間において見直しを図ることを前提に時代の変化に対応できる計画としました。

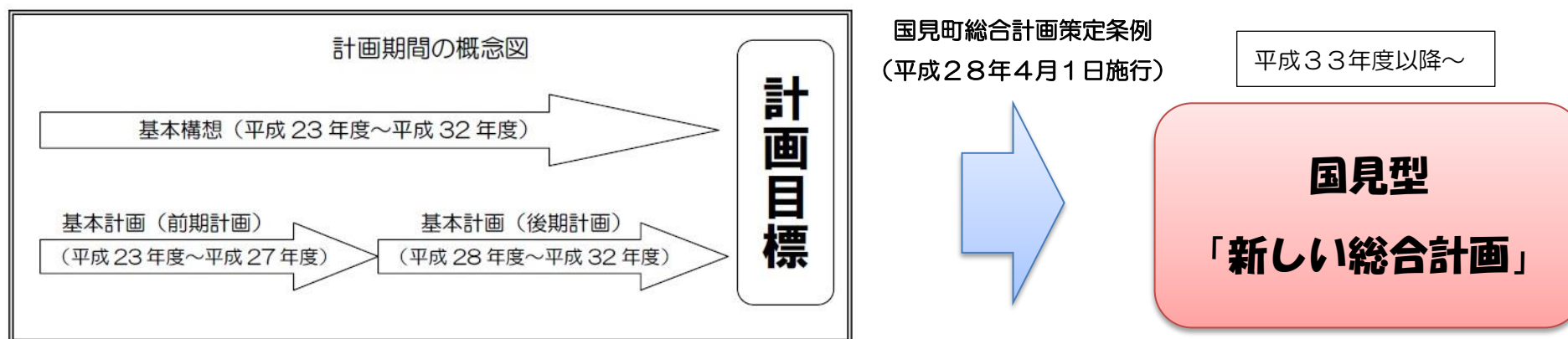
したがって、この計画の基本構想は平成23年度(2011年度)を初年度とし、平成32年度(2020年度)を目標年次としています。また基本計画は、平成23年度(2011年度)から平成27年度(2015年度)の5年間を期間とする前期計画と平成28年度(2016年度)から平成32年度を目標年次とする後期計画により構成します。

なお、地方分権一括法などの施行により地方分権の機運は一層の高まりをみせており、平成23年8月に施行された地方自治法の改正では、これまで自治体に義務付けられていた「振興のための総合的な計画を策定し、議会の議決を経なければならない」との条項が削除されました。国からの義務付けを廃し、自治体自らが判断し、新しい時代に向けた「新しい公共機能」の役割を地域の住民とともに考えて行くことが求められています。

また、平成23年3月11日の東日本大震災や東京電力福島第1原子力発電所の事故により、町を取り巻く状況は一変しました。

このような中、本町の地域特性や資源を最大限に生かすとともに、住民と行政が協働・連携し各種の政策課題を解決するための方策を探りながら、これからの時代にふさわしい復興と再生のまちづくりを進めていく必要があります。そのため、第5次振興計画の計画期間が終了する平成32年度までに、住民参画を得ながら、目指す将来像とその実現のための政策をまとめ、まちづくりの指針となる「新しい総合的な計画」の策定に向けて検討を進めていきます。

加えて、行政は、知識や経験、情報等を住民と共有し、協働でまちづくりに取り組むため、全ての職員が参画できる仕組みづくりを進めていきます。



5 基本理念と将来像

これまで、まちづくりの基本となる考え方としては、昭和55年3月に制定された国見町民憲章があります。国見町民憲章の前文では、その制定の精神を次のように示しています。

わたくしたちは みちのくのご跡のほとり
あつかし山の美しい山なみを背景に
阿武隈川の清い流れにうるおう 景勝の地に住んでいます
わたくしたちは 国見町民であることによるこびと誇りをもち
心あわせて、希望に満ちた 生きがいのある町づくりのために
町民憲章を定めます

新しい振興計画においても、国見町民憲章の理念を踏まえ、これまでの振興計画の基本目標を継承、発展させることを目標に国見町の『まちづくりの基本となる考え方』となる基本理念と『将来あるべき国見町の姿』を将来像として次のように設定します。

基本理念

『国見町民であることに喜びと誇りをもち、心あわせて希望に満ちた未来を創るまち』

国見町には古くから生活の場であったことを示す多くの遺跡、遺物が数多くあります。また、国見町の美しい景観は、春の花々、秋の豊かな実りを産み出すだけでなく、癒しの力を持ったかけがえのない自然が織りなすものです。また、古くから交通の要衝として国見町が持つ立地環境は、国見町の特徴であり、町民生活や経済活動にとって、かけがえのない宝となっています。

このような国見町の中で、共に住まう家族や地域との繋がりに生きる喜びを感じながら、社会の一員として郷土を守り支えることが国見町の明るい未来を切り拓く原動力となるものです。

国見町民の勤勉で優しさあふれる人情は、国見町が育んだ町民性であり、町民ひとりひとりが心あわせて、互いに助け合うことで国見町の希望に満ちた未来を創ることを目指すものです。

将来像

『心あわせ希望に満ちた豊かで生きがいのある国見町』

人間は社会の中で、互いを理解し尊重しながら、人との関わり合いを持ちながら生きています。豊かさとは単に経済的な価値観ではなく、心の潤いや生きる喜びを通して感じる幸福感を大切にします。そして国見町内のあらゆる世代が役割を持ち、社会から必要とされる、かけがえのない存在であることを認識することで、生きがいのある国見町を目指すこととします。

この計画では、基本理念のもと、将来像の達成と現在抱えている課題解決のために、政策を立ち上げ、さらに基本計画において、それぞれの施策を組み合わせることで、まちづくりの課題解決を目指します。

6 5つの基本目標

地域の資源を活かし、自然と調和したまち

国見町は福島県中通りの北部に位置し、宮城県境と接しています。仙台市、郡山市の中間であり、山形市も60km圏内の距離で、南東北のほぼ中央に位置しています。

町内には東北自動車道の国見インターと国見サービスエリアがあるほか、JR東北本線、東北新幹線、国道4号が通っており、交通の便に恵まれた環境にあります。

また国見町内には、東に阿武隈川、北西部に奥羽山脈があり、南東部は信達平野が広がり、四季折々の自然が織りなす豊かな景観が広がっています。

水田・果樹農業の基礎となる阿武隈川の豊富できれいな水と沖積平野、豊かな果樹園の土台となる阿津賀志山の森林資源と山麓など、これらの恵まれた自然環境は、先人から受け継いだ地域の宝であり、将来の世代に引き継ぐべきものです。今後とも国見町民が安心して快適な生活を送るために、自然環境の保全はもとより、魅力ある居住環境の形成が不可欠です。このため、町内の交通体系を充実させるとともに、総合的・計画的な土地利用を図る必要があります。

恵まれた自然環境と受け継がれてきた地域資源を将来に活かし、自然と調和した快適な生活を送ることを目指します。

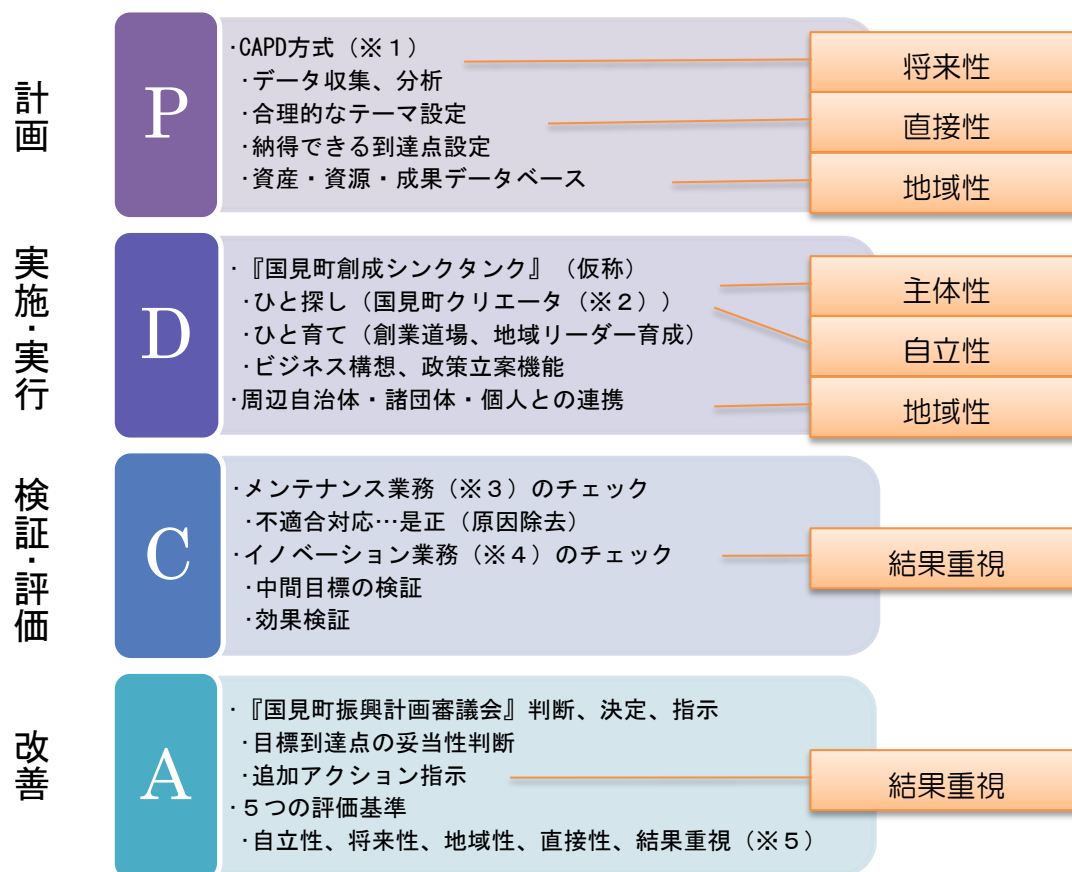
<p>互いに支え合い、安心して暮らせるまち</p>	<p>人口減少時代、少子化が急速に進行している状況にあって、国見町に育つ子どもは町の宝であり、安心して子どもを産み育てる環境を築くことは、緊急の課題となっています。</p> <p>また町民が将来にわたって安心して生活するためには、町民自身の健康を町民自身が守る努力と医療環境の充実が欠かせません。国見町には、地域医療の中核となる公立藤田総合病院が立地しており、受診の機会には恵まれています。本格的な高齢社会を迎えるにあたって、医療のみならず保健福祉分野との施策の連携は不可欠となっています。</p> <p>一方、核家族化の進展やライフスタイルの変化は、家族間や地域での支え合い機能の低下や地域での結びつきの稀薄化など、様々な影響を及ぼしています。このため、地域ぐるみによる町民同士の支え合いを支援する必要があります。</p> <p>また、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故を受けて、さらなる消防防災の充実や減災対策、地域ぐるみによる防犯の推進により、より安全・安心に暮らせるまちを目指します。</p>
<p>生きがいをもって、 いつまでも楽しく働けるまち</p>	<p>国見町の基幹産業は農業であり、コシヒカリとモモは、町の主力産品です。しかし、原発事故に伴う風評被害による生産への影響、就農者の高齢化や後継者不足による遊休農地の増加が課題となっています。商工業においては、産業構造の変化や世界規模による企業間の競争が激しくなっており、企業誘致などの他律的な政策に頼り切ることはできなくなっています。さらに商店街においては、廃業する店舗が出ているほか、農業分野と同じく、後継者不足を抱える商店も増えています。</p> <p>そこで、国見町の特性を利用した特産品の開発や観光資源を活かした観光振興を図ることで、今まで培った町の産業の連携を図り、新たな情報発信及び防災の基地となる「道の駅国見」を拠点に、交流人口の拡大を図るとともに、地域経済の好循環を促進します。また、歴史まちづくりをはじめ、国見町が持つ多様な資源を活かしつつ、全国的にも貴重な阿津賀志山防塁の整備と保全を進めながら、他の産業との連携により、新たな雇用を創出することで、町民だれもが生きがいをもっていつまでも楽しく働けるまちを目指します。</p>

<p>地域の資源を受け継ぎ、心豊かな人を育むまち</p>	<p>国見町には義経伝説が遺されているほか、町内に所在する文化財は、各年代が満遍なく揃う希少な町です。国見町に伝わる「文化や風習、人柄、自然、食文化、歴史的な建造物」までが、恵まれた国見の風土から醸成されたものです。1000年以上続いてきた町の歴史のなかで、私たち祖先がこの地で連綿と生活を営み、子や孫に伝えてきた「生活文化」や「思い」を受け継ぎ、今を生きる私たちの願いを付け加えて、次の世代に伝え、引き継がなければなりません。</p> <p>このような地域の資源を活かすだけでなく、付加価値の高いものとするためには、郷土を支える人材の育成が次代に対する責務となっています。</p> <p>学校教育においては、将来に夢を持った子どもたちを育むとともに、児童・生徒数の減少に応じた学習環境の提供を図る必要があります。また未就学児に対しての保育と養育の充実も重要な使命です。</p> <p>さらにあらゆる年代の町民が、健康で心豊かな潤いある生活を送るためには、町民自らが自主的に各種スポーツや文化活動に触れる機会を創り、生涯活躍できるまちを目指します。</p>
<p>あたたかく助けあう自主自立のまち</p>	<p>核家族化の進展や価値観の多様化により、今までよりも人間関係が希薄になってきたと感じる町民が増えてきています。人と人、人と地域資源、地域資源同士のつながりを育んでいくことで、新たな価値が生み出され、地域発展へとつながります。町民自身が互いに助けあうためには、交流を深め、理解し合うことが重要です。</p> <p>また、交通環境の向上に伴い町民の日常的な生活圏は町の区域を越えており、生活面においても、行政サービスの面においても隣接する市町と深いかわりを有しています。そこで近隣する市町との連携もより一層強化することで、広域的な課題解決を目指します。</p> <p>行政経営にとっては、労働力人口の減少による税収の減、国家的な財政危機がある一方、高齢化による社会保障費の増大は避けることのできない課題です。このため行政にあってはスクラップアンドビルド（廃止と置換による集中化・効率化）による事業の見直しを進め、将来にわたって安定的に持続可能性のある行政経営を目指すこととします。</p> <p>さらに町民と行政が協働し、力を合わせ、知恵を絞り、挑戦する「新しいまちづくり」の実現に向けて、様々な機会と手段を活用し、町民に分かりやすく積極的に情報を公開・提供するとともに、町民が課題解決に参画するための仕組みづくりや行政へのニーズを把握し町政に反映させるための活動を行います。</p>

7 計画の特徴

この計画では、まちづくりの基本理念と計画期間において目指すべき将来像を示し、基本計画の進捗管理を行いながら地域を運営ができる計画と仕組みづくりを目指します。限られた資源を効果的、効率的に活用し、今後の地域づくりを進めていくものです。

振興計画を策定する目的は、まちづくり課題解決にあります。したがって振興計画の進捗管理は、「いくら予算を消化したか」という「予算消化率」でも、「どの程度事業が進捗したか」という「事業進捗率」でもなく、「どの施策の課題の何が解決したのか」という「成果」を測定する必要があります。このためこの計画では、より実質的、効果的、機動的に進めるために、以下のようなPDCAメカニズムの仕組みを構築していきます。



（※1）CAPD方式
CAPD（キャップD）という「小さなPDCAシステム＝部分的（テーマ別）PDCA」は、論理的に各テーマ目標値を設定したり、進捗状況から不足を追及したりするための手法のこと。

（※2）国見町クリエイター
国見町に愛着をもって継続的に貢献する意欲と力量ある主人公の総称のこと。

（※3）メンテナンス業務
メンテナンス（現状維持）業務とは、まちの維持において、すでに良好な（満足できる、納得できる）状態に達しているものごとで、町の行政の各担当部門で継続的に対応する事務事業のこと。

【事例】：ライフライン維持、衛生、安全（交通、食品、災害、犯罪）、水利、平和、移動利便性、健康維持、環境美化、初等・中等教育など

（※4）イノベーション業務
イノベーション（飛躍への挑戦）業務とは、現状に満足できない課題テーマに対する新たな活動のこと。

【事例】：人口流出抑制、流入人口飛躍的增加、人口激減抑制、農林水産業の自立・活性化、雇用対策、高齢者対策（介護負担、医療費増）、環境蘇生（温暖化防止）など

（※5）自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視
国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」政策5原則と連動

8 住民の参画

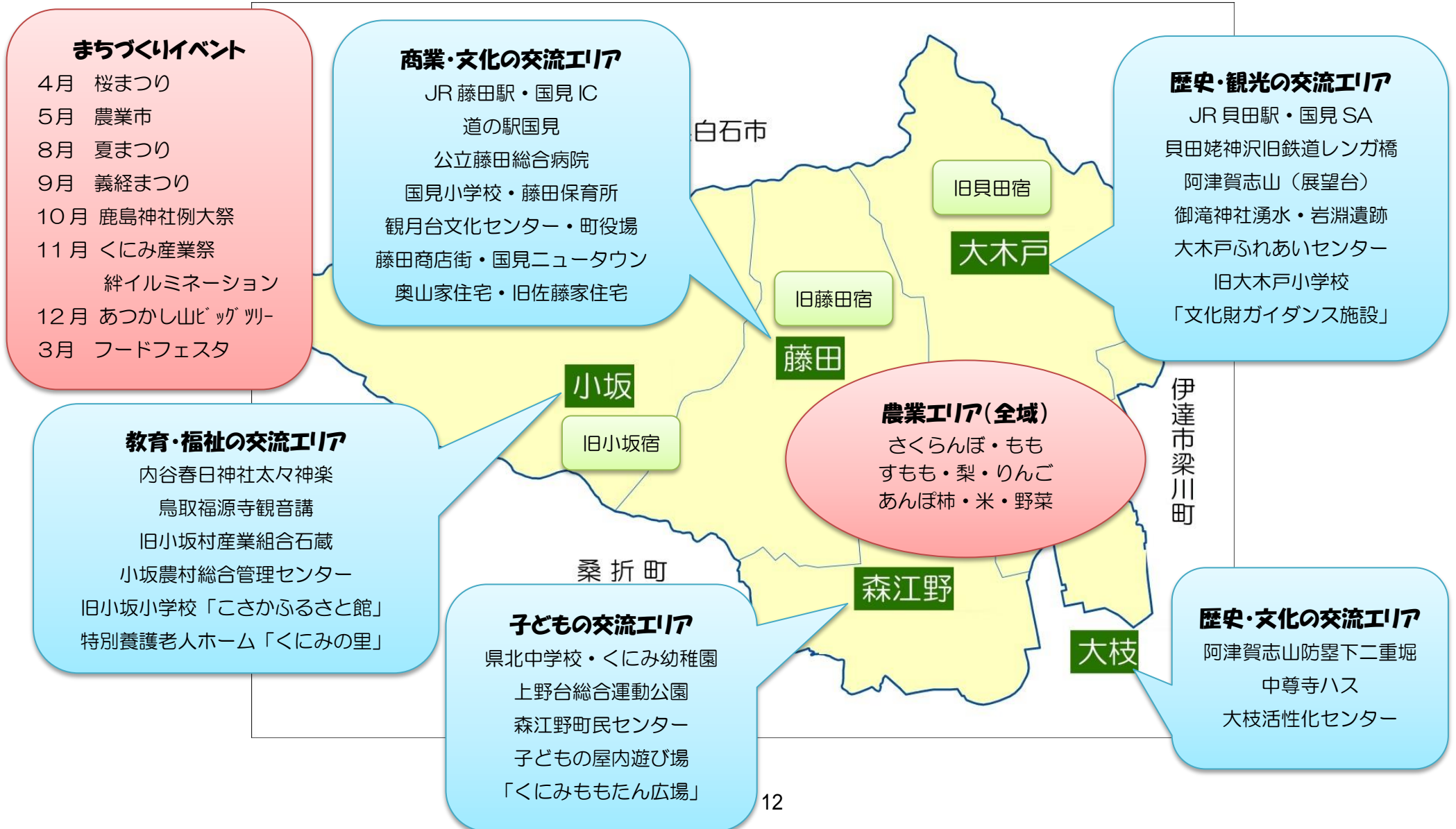
町民の考えや願い、希望が的確に町政運営に反映されるよう、積極的な情報発信及び情報共有を図り、町民と行政との信頼関係に基づいた協働のまちづくりを進めます。町民が町の魅力を再発見し、良さを認識しながら、町民が力を合わせて新たな取り組みに挑戦し、夢をもって誇りのある暮らしができる町を目指します。

町民意識調査	町政の課題を踏まえたまちづくりの方向性について、住民の意識調査を実施します。
まちづくり懇談会	まちづくりにおいて重要な課題などについてテーマを設定し、意見交換を行っていきます。
各種懇談会	町内各界の代表者による懇談会を開催し、意見交換を行う中で各種の提言をいただきます。
町長と対話の日における各界代表者との意見交換	町内各界の代表者による対話の日を設けることで、町長との意見交換や提言をいただきます。
コミュニティ・スクール（学校運営協議会）	住民の方が自分の町の学校（幼稚園を含む）をどのようにしたいかなど運営に参加するとともに、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」について意見をいただきます。
各種シンポジウム開催による意見交換	まちづくりをテーマとしたシンポジウムや講演会などを通じて、幅広い層の意見をいただきます。
地区毎や分野別のワークショップ、 タウンミーティング	まちづくりの考え方をまとめる手法としてワークショップを活用し、住民の方に自分の住む地域をどのようにしたいかなど、ワークショップにより意見の集約を行います。



9 地域の活動

町内5地区（藤田、小坂、森江野、大木戸、大枝）のそれぞれの特徴と地域資源を活かした地域デザインづくりを推進し、交流と連携のまちづくりを目指します。



第2章 第5次国見町振興計画（後期計画） 基本計画

基本構想（5つの基本目標）

基本理念	「国見町民であることに喜びと誇りを持ち、心あわせて希望に満ちた未来を創るまち」				
将来像	「心あわせ希望に満ちた豊かで生きがいのある国見町」				
基本目標	地域の資源を活かし、 自然と調和したまち	互いに支え合い、 安心して暮らせるまち	生きがいをもって、 いつまでも楽しく働けるまち	地域の資源を受け継ぎ、 心豊かな人を育むまち	あたたかく助けあう 自主自立のまち

基本計画「後期計画」（3つの政策・30の施策）

	I. 地域資源を活かしたまち	II. 人が輝くまち	III. 交流と連携のまち
里 の ま ち	1 自然環境・環境にやさしい生活の推進 2 快適な生活・魅力ある居住環境の形成 3 交通体系の充実 4 地域の資源を活かした魅力ある景観の形成	1 子育て支援の充実 2 健康づくり・地域医療の充実 3 高齢者支援の充実 4 障がい者支援の充実	1 消防・防災の充実 2 交通・防犯の推進 3 震災・原子力災害からの復興 4 自助・共助の醸成
活 か し の ま ち	5 総合的・計画的な土地利用の推進 6 農業の振興 7 商工業の振興 8 就業者の雇用の確保	5 地域福祉の充実 6 幼児教育の充実 7 義務教育の充実（生き抜く力の育成） 8 青少年の健全育成（学びと交流）	4 自助・共助の醸成 （コミュニティ活動の推進） 5 町民参加のまちづくり 6 交流の推進
巡 り の ま ち	9 国見町の特産品の開発と振興 10 国見町の資源を活かした観光振興 11 歴史や文化財の保護と活用	9 生涯学習の推進 10 文化活動とスポーツの振興	7 町民に信頼される行政運営 8 健全な財政の確立 9 広域行政

「人が主役 キラキラくにみ」の実現に向けて



住民力と地域力で「国見型のまちづくり」町の維持発展を目指す

国見町まち・ひと・しごと創生総合戦略 [平成 27 年度～31 年度]

まるごと国見町・一度来たら好きになる国見町	住むなら国見町	立ち寄るなら国見町
◇農の元気・活カプロジェクト◇食のビジネスプロジェクト ◇歴史まちづくりプロジェクト◇体験観光プロジェクト	◇ママ応援プロジェクト ◇人づくりプロジェクト	◇道の駅徹底活用プロジェクト ◇コミュニティの力向上プロジェクト

1000年のまち。これから100年のまちづくり基本計画 [平成 25 年度～32 年度]

1 恵まれた自然を活かしきる。 キラキラの再発見	2 子どもたち。人づくり。 つながるまちづくり。	3 町民と行政の連携。 新しい公共機能	4 未来への持続可能性
-----------------------------	-----------------------------	------------------------	-------------

未来への投資「人が主役 キラキラくにみ」の実現に向けて

「国見町まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点プロジェクト）」と連動して、地方創生重点事業を未来への投資（先導的施策）として位置づけ、基本計画全体を先導し、各施策を有機的に連携させながら事業を進めます。

命題1：恵まれた自然を活かしきる。
キラキラ再発見

命題2：子どもたち。人づくり。
つながるまちづくり。

命題3：町民と行政の連携。
新しい公共機能

地域資源を活かしたまち

里まち
活力のまち
巡りのまち

人が輝くまち

思いやり
のまち
人づくり
のまち
生涯活躍
のまち

交流と連携のまち

安全安心
のまち
つながる
まち
維持発展
するまち

農の元気・活力
プロジェクト

食のビジネス
プロジェクト

まるごと国見町
一度来たら好きになる国見町

歴史まちづくり
プロジェクト

観光体験
プロジェクト

ママ応援
プロジェクト

住むなら国見町

人づくり
プロジェクト

道の駅徹底活用
プロジェクト

立ち寄るなら国見町


コミュニティの力
向上プロジェクト

地方創生（まち・ひと・しごと創生）

命題4：未来へ国見型のまちづくり
『国見町の維持発展』


I. 地域資源を活かしたまち～里まち・活力のまち・巡りのまち～





背景・課題		基本方針（目指す姿）	
<p>景気の低迷と産業の空洞化、農商業の担い手不足など、地域経済を取り巻く環境は厳しい中で、郷土への誇りや希望、まちづくりへの意欲を失いかねず、地域の特性を生かし持続可能な社会を実現することが求められています。</p> <p>この地で 1000 年培われてきた人々の知恵、文化、わざ、歴史を受け継ぎ、今を生きる私たちの思いと願いを付け加えて、後世に引き継ぐこと、これらを活かしたまちづくりが必要になっています。</p>		<p>里まち 恵み豊かな自然環境の保全と再生を図り、人と自然とが調和したまちづくりを目指します。</p> <p>活力のまち 国見町のブランディング(*)による認知度向上とイメージアップにより、地域経済の活性化を目指します。</p> <p>巡りのまち 豊かな自然と長い歴史の中で生まれた伝統文化や農業の体験など国見を伝え、訪れたいまちを目指します。</p>	
基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	主担当課
1 自然環境・環境にやさしい生活の推進 	里山・森林保全再生事業【イ】	有害鳥獣による里山・農作物被害の防止、耕作放棄地の発生防止、森林の維持・再生など、自然環境が持つ多面的機能（国土保全、水源涵養、景観形成など）を保ち、良好な農村集落の環境づくりを推進します。 目標数値（H32：KPI）⇒耕作放棄地：H26 年度比 10%減 【H26 国見町調べ：60ha】 成果目標（最終到達点）⇒有害鳥獣被害ゼロ・耕作放棄地解消	産業振興課
	河川管理・整備事業【メ】	河川の管理・整備により、生態系を考慮した自然環境の保全と台風・集中豪雨等による災害対策の強化を図ります。	建設課


基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
	ごみ減量化・資源化対策推進事業【イ】	<p>町民一人一人の環境問題への意識の啓発を図り、資源ごみの分別収集、不法投棄ゴミ対策など家庭から排出されるごみの減量化とリサイクル(*)を推進します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒資源物回収量：年間330t 【H26 国見町調べ：303t】 成果目標（最終到達点）⇒ゼロエミッション(*)</p>	住民生活課
<p>2 快適な生活・魅力ある居住環境の形成</p> 	公園管理・整備事業【メ】	<p>災害時の避難場所として、また、町民の憩いの場である公園を良好な状況に保持し、子どもから高齢者まで公園利用者が快適で安心して利用できる環境を整えます。</p>	建設課
	上下水道維持管理事業【メ】	<p>老朽配水管やポンプの更新をはじめ、水道施設の維持管理と経営の健全化に努めるとともに、個人住宅等での新たな合併処理浄化槽設置支援による生活環境の向上を図ります。</p>	上下水道課
	移住・定住 IUJ ターン(*)促進事業【イ】☆	<p>就農を希望するリタイア世代や若者世代をターゲットとした移住・定住支援を実施し、農業担い手の確保と移住・定住人口の増加を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒移住転住件数：累計10人 【H26：-人】 成果目標（最終到達点）⇒社会増（転入数>転出数）</p>	企画情報課
	住宅維持管理・整備事業【イ】	<p>町営住宅の維持管理に加え、老朽住宅の除却、空家を活用した子育て世代支援促進住宅の整備等を進め、居住環境の向上を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒居住環境満足度：80%以上 【H26 町民意識調査：68.4%】 成果目標（最終到達点）⇒社会増（転入数>転出数）</p>	建設課

基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
3 交通体系の充実 	地域公共交通網ネットワーク事業【イ】 ☆	デマンド型乗合タクシー(*)に加え、コミュニティバス(*)の運行をすることにより、地域を線状だけでなく円状に結び、生活の利便性を向上し、地域間交流の拡大を図ります。 目標数値（H32：KPI）⇒循環バス利用者数：年間2万人 【H26 国見町調べ：デマンドタクシー-17,676人】 成果目標（最終到達点）⇒地区別人口維持	企画情報課
	道路維持管理・整備事業【メ】	町道及び橋梁の維持管理に加え、国道4号拡幅関連事業を進め、安全な幹線道路及び生活道路の確保を図ります。	建設課
4 地域の資源を活かした魅力ある 景観の形成 	自然景観事業(耕作放棄地の再生)【メ】	地域農業再生協議会と連携し、耕作放棄地解消のための再生への支援を行い、休耕田の活用など農業の多目的機能を維持・発展により、農村の景観形成を図ります。	産業振興課
	町並み景観事業（藤田宿・小坂宿・貝田宿）【メ】	景観条例の整備により、宿場町であった町並み景観の維持や再現により、国見町らしい町並み景観形成を図ります。	建設課
	歴史的景観事業（歴史的建造物の保全・整備）【メ】	奥山家住宅や旧佐藤家住宅をはじめ、石蔵養蚕住宅など歴史的価値のある建造物の保全と活用を進め、地域資源の価値の向上を図ります。	企画情報課
5 総合的・計画的な土地利用の推進 	地籍調査事業（国土調査）【メ】	東北地方太平洋沖地震の影響による国土調査成果と現地の整合性を確認する検証測量後の国土調査成果の管理及び利用を推進します。	企画情報課
	コンパクトシティ(*)形成事業【イ】	立地適正化計画(*)の策定を進め、生活に必要な諸機能(居住機能、医療、福祉、商業、公共交通、空家対策等)の構成や誘導により、国見型の安心安全なまちづくりで維持発展を目指します。 目標数値（H32：KPI）⇒居住環境満足度：80%以上 【H26 町民意識調査：68.4%】 成果目標（最終到達点）⇒社会増（転入数>転出数）	建設課

基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
<p>6 農業の振興</p> 	<p>農業担い手・新規就農支援事業【イ】 ☆</p>	<p>人農地プランの推進により、農業の担い手の確保と集積により遊休農地の解消を進めるほか、福島大学や県立農業短期大学、県内農業高校、JA 等と連携し、農業の経営支援、担い手、指導者、新規就農者等の育成支援に取り組み、強い農業づくりを目指します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒新規就農者数：累計30人 【H26 国見町調べ：0人（H25：3人）】 成果目標（最終到達点）⇒農業所得≧給与所得</p>	<p>産業振興課</p>
	<p>食の地産地消推進事業【イ】 ☆</p>	<p>子どもたちの食農教育の実践を通じて地域の産業と食に対する理解を深めるとともに、生産者・流通業者・学校給食現場の密な連携を促す施策を展開することで、学校給食をはじめ国見産の食材の使用率の向上を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒学校給食の町内農産物利用率：30% 【H26 国見町調べ：11.2%（※震災後、米のみ）】 成果目標（最終到達点）⇒農業所得≧給与所得</p>	<p>産業振興課</p>
	<p>農業施設整備事業【メ】</p>	<p>ほ場整備をはじめ区画整理や水路、農道といった農業生産基盤や集落道路といった生活環境基盤の整備を一体的に行い、効率のかつ安定的な農業経営の確立を図ります。</p>	<p>産業振興課</p>
<p>7 商工業の振興</p> 	<p>空家リノベーション(*)事業【イ】 ☆</p>	<p>空家の調査設計・改修を実施し、リノベーションによる農業活動拠点、オフィスやコミュニティ活動の拠点づくりを推進し、移住・定住促進を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒空家利用件数：累計5件 【H26：-件】 成果目標（最終到達点）⇒社会増（転入数>転出数）</p>	<p>建設課</p>
	<p>木工細工によるしごと創出事業【イ】 ☆</p>	<p>木材（町産材）を活用した木工製品や玩具の製造販売に取り組む職人を育成し、林業の再生と森林保全とともに、木のまちとしての木工職人のしごとを創出します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒木工細工職人数：累計5人 【H26：-件】 成果目標（最終到達点）⇒農業所得≧給与所得</p>	<p>産業振興課</p>


基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	主担当課
	商工振興事業【イ】	<p>町内立地企業の支援や商工会と連携した商工業の創業・経営支援をはじめ、観光客の誘客や各種イベントを通じて、国見まちづくり株式会社を核に地域経済の活性化を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒まちづくり会社営業利益 1,500万円【H26： - 円】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒課税所得全国平均以上</p>	まちづくり交流課
<p>8 就業者の雇用の確保</p> 	コミュニティビジネス(*)域学連携事業【イ】☆	<p>大学や企業・NPO等の外部団体との連携により、地域資源を活かした新たなコミュニティビジネスを創出し、農工商業、観光、環境、子育て・高齢者支援等の分野において、地域に根差したしごとづくりを推進します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒新規創業者：累計10人【H26： - 人】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒生産年齢人口比率50%維持</p>	企画情報課
	雇用対策事業【イ】	<p>子どもたちの職場訪問や職場体験、キャリア教育(*)の実施による人材育成、労働環境の改善による就業者雇用の確保を図り、雇用の場を創出します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒町内就業者>他地域就業者【H22 労働力調査：2,321人<2,530人】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒生産年齢人口比率50%維持</p>	まちづくり交流課
	地元就労・就業創出事業【イ】	<p>地域経済の核となる道の駅や農業・観光関連事業への地元の就労・就業を創出し、地域の元気・活力を生み出します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒まちづくり会社雇用数：100人【H26： - 人】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒生産年齢人口比率50%維持</p>	まちづくり交流課


基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
<p>9 国見町の特産品の開発と振興</p> 	<p>国見ブランド育成・6次化開発事業【イ】☆</p>	<p>国見町の農産物の付加価値化に取り組み、6次化商品の開発とブランディング(*)による販売促進、また、道の駅やインターネットを活用したマーケティング(*)を強化することにより、農産物の販路拡大を図ります。</p> <p>目標数値(H32：KPI)⇒道の駅6次化商品販売額：年間2,000万円【H26：-円】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒農業所得≧給与所得</p>	<p>まちづくり交流課</p>
	<p>地域の食づくり・食の伝承事業【イ】☆</p>	<p>郷土料理や地元食材を活用した料理のレシピづくりを進め、食と生活文化を後世に伝えるとともに、新たな名産品づくりや農産物加工品等の加工施設を整備し、先人から受け継がれた知恵と手わざを活かしたしごとづくりを推進します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒特産品件数：累計20件【H26国見町調べ：3件】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒農業所得≧給与所得</p>	<p>企画情報課</p>
	<p>農産物プロモーション(*)事業【イ】</p>	<p>県内外において、国見町の季節の農産物をPR販売し、新鮮で高品質、安全安心な農産物の提供による風評払拭とともに、顧客獲得と販路拡大を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒農産物販売額：H22年度10%増【RESAS(*)（H22農林業セクタ）：373,600万円】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒農業所得≧給与所得</p>	<p>産業振興課</p>
<p>10 国見町の資源を活かした観光振興</p>	<p>歴史を活かしたまちづくり推進事業【イ】☆</p>	<p>町内にある数多くの文化財について、保存に留まらず、活用への転換を図り、情緒あふれる良好な景観の形成、環境資源や教育活動の場としての活用など、地域のたからものを磨き上げていきます。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒文化財ボランティア利用者数：年間2,000人【H26国見町調べ：1,052人】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒人口減少相当分の交流人口の拡大</p>	<p>企画情報課</p>

基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
	地域資源を活かした観光創出事業【イ】☆	歴史を活かしたツーリズム(*)、農業を活かしたグリーンツーリズム(*)、藤田総合病院と連携したヘルスツーリズム(*)などの周遊型体験観光プログラムを開発し、また地域間連携により都市農村交流を図ります。 目標数値（H32：KPI）⇒観光客入込数：年間 15 万人 【H26 国見町調べ：年間9万人】 成果目標（最終到達点）⇒人口減少相当分の交流人口の拡大	まちづくり交流課
	文化観光物産交流事業【イ】☆	近隣市町村や他地域との交流（岐阜県池田町、北海道二セコ町、岩手県平泉町など）により、人・文化・観光物産の地域間交流の拡大を図ります。 目標数値（H32：KPI）⇒物産交流件数：累計30件 【H26 国見町調べ：3件】 成果目標（最終到達点）⇒人口減少相当分の交流人口の拡大	まちづくり交流課
11 歴史や文化財の保護と活用 	歴史まるごと博物館事業【イ】☆	町全体が博物館、町民ひとりひとりが学芸員となり、町民も町外の人たちも国見町の豊かな自然・歴史文化を実感できるエコミュージアム(*)づくりを推進します。 目標数値（H32：KPI）⇒案内ボランティア数：100人 【H26 国見町調べ：21人】 成果目標（最終到達点）⇒人口減少相当分の交流人口の拡大	企画情報課
伝統芸能・無形民俗文化財伝承事業【メ】☆	内谷春日神社太々神楽や鹿島神社例大祭をはじめとする伝統芸能・無形民俗文化財の後継者を育成支援し、伝統文化の継承と文化を通じた世代間交流を図ります。	生涯学習課	
阿津賀志山防塁整備事業【メ】	貴重な文化遺産を後世に伝え残していくため、国史跡「阿津賀志山防塁」の史跡整備と保存に向けた取り組みを進め、保護と活用を図ります。	生涯学習課	

Ⅱ. 人が輝くまち～思いやりのまち・人づくりのまち・生涯活躍のまち～



背景・課題		基本方針（目指す姿）	
<p>少子高齢化が深刻化する中で、地域で支え合う心を大切に育み、中核医療機関である公立藤田総合病院や地域医療と予防医療体制の充実を図るとともに、福祉と医療が連携した包括的なケア体制をつくり、生涯を通じて安心して暮らせるまちづくりが求められています。</p> <p>また、人口減少時代となり、未来を担う私たちの宝ものである子どもを安心して産み育てられる環境を整え、地域全体で見守り、健やかに成長できるまちづくりが必要になっています。</p>		<p>思いやりのまち 子育て世代のママたちを応援する安心して産み育てられる「ママにやさしいまちづくり」を目指します。</p> <p>人づくりのまち 国見町で暮らしていることに誇りを持ち、誰もがしあわせ感と満足感が持てるまちづくりを目指します。</p> <p>生涯活躍のまち 子どもから高齢者まで生涯を通じて、笑顔で元気に活躍できる生涯現役のまちづくりを目指します。</p>	
基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	主担当課
1 子育て支援の充実 	ママネットワーク創出事業【イ】☆	ママの交流の場づくりとママのネットワーク構築に取り組み、安心して産み育てる環境づくりにより、子育てファミリーの移住者やUターン者の増加を図ります。 目標数値（H32：KPI）⇒ママカフェ利用者数：年間1万人【H26：-人】 成果目標（最終到達点）⇒社会増（転入数>転出数）	企画情報課
	木育推進事業（ウッドスタート(*)）【イ】	町産材を活かした木から学ぶ自然や生活等「木育」を通して、木に触れ合う豊かな子育てを推進し、健やかな成長を図るとともに、町産材の活用の拡大を促進します。 目標数値（H32：KPI）⇒町産材の使用量：累計1,500 m ³ 【H26：-m ³ 】 成果目標（最終到達点）⇒合計特殊出生率2.07	産業振興課

基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
	屋内遊び場事業【イ】☆	<p>子どもたちがのびのびと遊び、ママたちが安心して利用できる居場所づくりを進め、子どもたちの健全育成と、保護者同士が交流できる場としての利用拡大を推進します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒遊び場利用者数：年間4万人 【H26国見町調べ：くにみもたん広場年間34,466人】 成果目標（最終到達点）⇒子育て安心度80%以上</p>	幼児教育課
	放課後児童健全育成事業【メ】	放課後、保護者が就労等により家庭にいない小学生を対象に、適切な遊びや生活の場「放課後子どもクラブ」を提供し、その健全な育成を図ります。	幼児教育課
	子ども医療費助成事業【メ】	18歳未満の子どもの医療費の無料化により、子育て家庭の負担の軽減と子どもたちの安心な医療環境の確保を図ります。	保健福祉課
<p>2 健康づくり・地域医療の充実</p> 	各種健（検）診・保健事業【イ】	<p>成人の健（検）診体制を整え、受診を勧奨し、生活習慣病等の早期発見・治療・予防につなげ、町民の健康の保持増進を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒各種がん検診受診率：50%以上 【H25国見町調べ：23.7%～46.9%】 成果目標（最終到達点）⇒健康寿命の伸長</p>	保健福祉課
食育推進事業【メ】	食育推進計画の策定により、幼小中学校、食生活改善推進員、桜の聖母短期大学等と連携して、農業体験や食づくりを通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活の推進を図ります。	保健福祉課	
データヘルス・健康づくり事業【メ】	藤田総合病院等と連携してデータヘルス計画(*)に基づき、特定健診やレセプト(*)の情報を活用した各種健康づくり事業を実施し、効果的な町民の健康増進を図ります。	保健福祉課	
地域医療連携事業【イ】☆	<p>地域の中核医療機関である藤田総合病院と連携して、保健・福祉・医療が連携した包括的なケア体制の充実を図り、本格的な高齢社会を迎えるにあたって、生涯を通じて安心して暮らせるまちづくりを推進します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒医療給付費：H26年度比5%減 【H26国見町調べ：795百万円】 成果目標（最終到達点）⇒健康寿命の伸長</p>	保健福祉課	

基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
3 高齢者支援の充実 	高齢者交流事業【イ】☆	<p>介護予防・健康づくり教室や文化サークル活動を通じた交流により、町民同士の助け合い・支え合いのコミュニティ機能を強化し、高齢者の仲間づくりを促進します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒要支援要介護認定率：20%以下 【H26 国見町調べ：17.7%】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒健康寿命の伸長</p>	保健福祉課
	介護予防・介護保険事業【イ】	<p>高齢者の生活支援と介護予防に加え、特別養護老人ホーム等介護福祉施設の設置により、介護保険サービスの充実を図り、高齢者の心身機能の維持・向上を促進します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒要支援要介護認定率：20%以下 【H26 国見町調べ：17.7%】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒健康寿命の伸長</p>	保健福祉課
	高齢者の生きがいづくり事業【イ】	<p>高齢者の自主サークルや社会参加を促進し、生涯現役として元気で活躍するアクティブシニア(*)を増やし、シニア世代の様々な経験や知識を次の世代へ教え、伝える役割を担うことで生きがいづくりへつなげていきます。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒要支援要介護認定率：20%以下 【H26 国見町調べ：17.7%】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒健康寿命の伸長</p>	保健福祉課
4 障がい者支援の充実 	障がい者福祉サービス事業【メ】	<p>障害者総合支援法に基づく、障がい者（身体、知的、精神、難病患者）福祉サービスの提供により、安心して自立した生活を送れるよう支援します。</p>	保健福祉課
	障がい者地域生活支援事業【メ】	<p>障害者総合支援法に基づく、障がい者の地域生活支援、日常生活用品給付、移動支援、相談支援、意思疎通支援等により、安心した生活を送れるよう支援します。</p>	保健福祉課
	障がい者就労・社会参加促進事業【メ】	<p>共同作業所や就労支援型事業所等との連携により、障がい者の就労支援や文化・スポーツ活動を通じた社会参加を支援します。</p>	保健福祉課


基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
5 地域福祉の充実 	地域福祉ネットワーク連携事業【メ】	地域における住民福祉活動への支援、要援護者に対する支援のネットワークづくりのため、社会福祉協議会を核として、民生委員・児童委員、社会福祉関係者・医療関係者等との連携を図ります。	保健福祉課
	地域福祉ボランティア推進事業【イ】	町社会福祉協議会が運営するボランティアセンターを中心に、町民が互いに支え合うボランティア精神の醸成及びボランティアの育成を推進します。 目標数値（H32：KPI）⇒ボランティア登録数：200人 【H26国見町調べ：139人】 成果目標（最終到達点）⇒住民満足度80%以上	保健福祉課
6 幼児教育の充実 	保育所運営事業【メ】	藤田保育所において、0歳から2歳児までの一貫した保育を推進します。保育士を確保し、待機児童を出さないよう努めます。	幼児教育課
	幼稚園運営事業【メ】	くにみ幼稚園において、3年保育（3歳児から5歳児）を実施し、系統的な保育・教育を推進し、幼児教育の充実を図ります。幼児期から英語に親しむ活動を取り入れ、国際感覚を持ち豊かな人間性を育みます。	幼児教育課
	幼稚園預かり保育事業【メ】	幼稚園の降園後、保護者が就労等により家庭にいない園児に対して、預かり保育を実施し、幼児教育の充実を図ります。	幼児教育課
7 義務教育の充実 （生き抜く力の育成）	コミュニティ・スクール(*)事業【イ】 ☆	子どもたちの豊かな学びを創造するため、地域とともにある学校づくりを進めるとともに、学校を核とした地域づくりを進めるため、町民がボランティアで教育活動等を支援するなど、特色ある国見型コミュニティ・スクールを推進します。 目標数値（H32：KPI）⇒学校支援ボランティア活動数：年間延べ300人 【H26国見町調べ：延べ227人】 成果目標（最終到達点）⇒コミュニティ・スクール プラス評価 80%以上	学校教育課



基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	主担当課
	グローバル人材育成事業【イ】☆	<p>他国語環境や国際交流など、国際人としての学びの機会を提供し、子どもたちのコミュニケーション能力や異文化体験を支援することにより、国際的に活躍する人材育成を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒留学生：累計10人 【H26：－人】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒英検等標準資格保持率70%以上</p>	学校教育課
	幼小中一貫教育推進事業【メ】	<p>「くにみの子ども」として一体感を醸成する交流活動とともに幼小中連携型一貫教育を推進し、人間性豊かな児童生徒の育成を目指す「国見型の教育」を充実します。</p>	学校教育課
8 青少年の健全育成（学びと交流） 	ヤングカレッジ事業【イ】☆	<p>高校生・大学生等を対象に学びの機会を通じた世代間交流や地域交流を目的とした若者の居場所づくりに取り組み、地元定着促進を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒ヤングカレッジ参加者数：年間30人 【H26：－人】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒生産年齢人口比率50%維持</p>	企画情報課
若者交流事業【イ】☆	<p>商工会青年部を中心とした「スマイル国見若人の会」と連携した若者の出会いと交流の場づくりに取り組み、流入人口の拡大と未婚率の抑制・低下を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒婚活支援結婚成立数：累計5組 【H26：－組】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒社会増（転入数＞転出数）</p>	保健福祉課	
放課後等学習推進事業【イ】	<p>放課後等（土曜含む）に体験的・探究的学習に取り組むことにより、子どもの自立心を養い、豊かな人間性と生きる力を育みます。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒放課後等学習参加率：80%以上 【H26 国見町調べ：62%】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒参加者満足度90%以上</p>	生涯学習課	

基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
<p data-bbox="143 213 394 242">9 生涯学習の推進</p> 	<p data-bbox="624 213 1104 293">ふるさと学校（地域リーダー育成）事業【イ】☆</p>	<p data-bbox="1131 213 1859 373">町民が得意分野を活かした活躍の場を広げるため、学び・教え合う場を提供し、生きがいをもって新たな学びへの挑戦や社会貢献、高齢者が若者を育てる次世代育成など、地域のプレーヤー（活動者）づくりを推進します。</p> <p data-bbox="1131 383 1848 456">目標数値（H32：KPI）⇒地域づくり関心度：80%以上 【H26 町民意識調査：66%】</p> <p data-bbox="1131 466 1747 494">成果目標（最終到達点）⇒住民満足度80%以上</p>	生涯学習課
	<p data-bbox="624 507 922 536">生涯学習推進事業【メ】</p>	<p data-bbox="1131 507 1859 622">乳幼児から高齢者まで学習機会の充実を図り、自主的な学習活動の支援に努め、生きがいのある豊かな人生を築き、うるおいのある地域づくりを推進します。</p>	生涯学習課
	<p data-bbox="624 638 922 667">読書活動推進事業【メ】</p>	<p data-bbox="1131 638 1859 785">図書室の充実とともに、学校・家庭・地域が連携し、子ども読書活動、家読（うちどく）の推進を図り、子どもたちの感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにします。</p>	生涯学習課
<p data-bbox="143 801 546 829">10 文化活動とスポーツの振興</p> 	<p data-bbox="624 801 1034 829">文化スポーツ施設活用事業【イ】</p>	<p data-bbox="1131 801 1859 916">観月台文化センター、上野台運動公園等の施設を活用した文化スポーツ活動の推進により、地域住民の交流と活動の場づくりを図ります。</p> <p data-bbox="1131 925 1848 999">目標数値（H32：KPI）⇒生涯学習興味度：80%以上 【H26 町民意識調査：68.6%】</p> <p data-bbox="1131 1008 1747 1037">成果目標（最終到達点）⇒住民満足度80%以上</p>	生涯学習課
	<p data-bbox="624 1050 922 1078">文化活動支援事業【イ】</p>	<p data-bbox="1131 1050 1859 1165">幅広い世代の芸術文化活動の奨励により、芸術・文化に触れる機会を創出し、文化意識の高揚や世代間・地域間交流による地域活性化を図ります。</p> <p data-bbox="1131 1174 1848 1248">目標数値（H32：KPI）⇒文化団体連合会加入率：12%以上 【H26 国見町調べ：8.4%】</p> <p data-bbox="1131 1257 1747 1286">成果目標（最終到達点）⇒住民満足度80%以上</p>	生涯学習課
	<p data-bbox="624 1308 976 1337">スポーツ活動支援事業【メ】</p>	<p data-bbox="1131 1308 1859 1423">町民が気軽にスポーツに親しみ、健康で活力ある生涯スポーツの推進を図り、スポーツ関係団体の育成・支援に努めます。</p>	生涯学習課




Ⅲ. 交流と連携のまち～安全安心のまち・つながるまち・維持発展するまち～





背景・課題		基本方針（目指す姿）	
<p>社会構造が複雑化し、多様化する町民ニーズに的確に対応するためには、私たちの基本的な生活圏である地域コミュニティを核として、地域の課題を地域自らが解決できるような住民力と地域力の醸成が求められています。</p> <p>また、人口減少社会に入り、住み良い、訪れたいまちづくりを進めることで、定住人口の維持と交流人口の拡大により、国見型のまちづくりを進め、町の維持発展が求められています。</p>		<p>安全安心のまち 地域住民が地域の課題解決に向けて自主的、主体的に取り組むことができるまちづくりを目指します。</p> <p>つながるまち 地域住民が互いに支え合い、助け合いができる地域のつながりを大切にするまちづくりを目指します。</p> <p>維持発展するまち 国見町を応援してくれる人たちとの交流と連携により、町の魅力と地域力の向上を目指します。</p>	
基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	主担当課
1 消防・防災の充実 	消防・防災訓練実施事業【×】	大規模な地震・風水害等の発生を想定し、関係機関団体の協力の下、総合的な防災訓練や、地域の特性に応じた各地区防災訓練を実施し、防災対策の習熟と防災関係機関相互の連絡協調体制の確立、さらには、住民の防災意識の高揚を図ります。	住民生活課
	災害対策事業【×】	防災の手引きによる自助防災意識の啓発や、防災資機材・避難用品・非常食の備蓄等により、災害時・救急時に備えた体制づくりと防災力の向上を図ります。	住民生活課

基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
2 交通・防犯の推進 	交通安全対策事業【×】	交通安全関係団体と連携し、交通安全運動をはじめとする啓発活動や危険個所の整備等により、交通事故を一件でも少なくし、安全で安心な住みよいまちづくりを推進します。	住民生活課
	防犯活動事業【×】	防犯関係団体と連携し、防犯灯をはじめとする安全施設の管理や振込詐欺防止などの啓発等により、犯罪を未然に防ぎ、安全で安心な住みよいまちづくりを推進します。	住民生活課
3 震災・原子力災害からの復興 	除染・放射線対策事業【イ】	<p>除染実施計画に基づく除染の実施による環境回復、及びモニタリング(*)・放射性物質測定などによる情報収集と情報発信により、安心して生活できる環境を取り戻すための対策を確実に進めます。</p> <p>目標数値(H32:KPI)⇒放射線への不安を感じる人の割合 30% 【H25 国見町調べ: 64.5%】</p> <p>成果目標(最終到達点)⇒放射線への不安解消</p>	原発災害対策課
	風評対策事業【イ】	<p>農産物のPR・販売や風評被害対策ツアー等消費者への啓発の実施により、食の安全・安心を伝えるとともに、農産物の放射性物質検査を継続します。</p> <p>目標数値(H32:KPI)⇒農産物販売額: H22年度10%増 【RESAS(H22農林業セクター): 373,600万円】</p> <p>成果目標(最終到達点)⇒農業所得≥給与所得</p>	産業振興課
	放射線対策健康管理事業【×】	内部及び外部被ばく検査等の実施により、原発事故に伴う町民の健康不安の解消と、長期的な町民の健康の見守りによる健康維持・増進を図ります。	保健福祉課
4 自助・共助の醸成 (コミュニティ活動の推進)	コミュニティネットワーク形成事業【イ】☆	<p>地域の特色を活かした地域デザイン(*)を目指して、各地区でワークショップを開催し、地域デザインに基づく住民主体の活動の実施につなげることにより、地域住民による地域住民のための地域づくりを推進します。</p> <p>目標数値(H32:KPI)⇒地域デザイン数: 累計10件 【H26: - 件】</p> <p>成果目標(最終到達点)⇒地区別人口の維持</p>	企画情報課

基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
	NPO・ボランティア活動推進事業【イ】	<p>町民自らがまちづくりの主役であることを認識し、自分たちがまちを良くしていこうという熱意を持ち、まちづくりについて主体的にチャレンジすることを支援します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒地域づくり関心度：80%以上 【H26 町民意識調査：66%】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒地区別人口の維持</p>	住民生活課
	集落活性化支援事業【イ】	<p>福島大学と桜の聖母短期大学等との域学連携により、地域の課題は地域自らが解決する地域力を醸成し、地域資源を活かした地域づくりを支援します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒地域づくり関心度：80%以上 【H26 町民意識調査：66%】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒地区別人口の維持</p>	企画情報課
5 町民参加のまちづくり 	地域活動応援・情報発信事業【イ】 ☆	<p>地域おこし協力隊を導入し、農業や観光の応援、町民の生活支援などの各種地域活動に従事、地域の活性化に協力してもらいながら、その地域への定住・定着を図ります。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒地域おこし協力隊数：累計5人 【H26： - 人】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒社会増（転入数＞転出数）</p>	企画情報課
まちづくり「元気・活力」推進事業【イ】 ☆	☆	<p>まちづくりイベントを通じて、地域内、他地域との交流の拡大を図り、にぎわいと地域経済の好循環を創出します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒観光客入込数：年間15万人 【H26 国見町調べ：9万人】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒人口減少相当分の交流人口の拡大</p>	企画情報課
6 交流の推進	国見応援プロジェクト事業【イ】 ☆	<p>東京くにみ会の開催やくにみ応援団ツアーの実施により、国見町に縁のある人たち及び国見ファンとの繋がりの拡大を図り、交流人口と観光消費の拡大を促進します。</p> <p>目標数値（H32：KPI）⇒ふるさと応援者数：累計1,000人 【H26 国見町調べ：458人】</p> <p>成果目標（最終到達点）⇒人口減少相当分の交流人口の拡大</p>	まちづくり交流課

基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	主担当課
	交流の拠点「道の駅」の整備事業【イ】 ☆	新たな情報発信及び防災拠点として、町の基幹産業である農業を主軸とした農商工一体となった道の駅を整備し、通過人口を取り込み、滞在・交流人口の拡大を図るとともに、年代問わず町民が集える交流の拠点づくりをします。 目標数値（H32：KPI）⇒まちづくり会社営業利益 1,500万円【H26： - 円】 成果目標（最終到達点）⇒課税所得全国平均以上	建設課
	廃校活用プロジェクト事業【イ】☆	旧小坂小学校「こさかふるさと館」（介護予防施設及び地域交流施設）、旧大木戸小学校「文化財ガイダンス（*）施設」の整備により、地域の小さな拠点づくりを推進します。 目標数値（H32：KPI）⇒施設利用者数：年間5千人【H26： - 人】 成果目標（最終到達点）⇒地区別人口の維持	企画情報課
7 町民に信頼される行政運営 	行政経営推進事業【メ】	振興計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理（事業評価・改善）を行い、また住民ワークショップ等住民参画により、時代に即した行政サービスの充実と効果的・効率的な町政経営を図ります。	企画情報課
	人材育成事業【メ】	行政職員が常に現場意識と問題意識を持ち、地域の課題・ニーズを把握し、地域の実情に即したまちづくりを推進するスキル（*）と知識の習得、実践力の強化を図ります。	総務課
	情報発信・情報共有推進事業【メ】	広報誌、ホームページ、フェイスブック、ツイッター、ラジオ等を通じて、わかりやすくタイムリー（*）な情報を発信し、効率的・効果的な広報戦略による情報の共有化を図り、行政と町民による協働のまちづくりを推進します。	総務課
8 健全な財政の確立	課税管理・収納対策事業【メ】	インターネット等を利用した申告・届出やコンビニ収納をはじめとする納税者の利便性を図るとともに、ファイナンシャルプランナー（*）による納税相談などのサポート体制の充実を図ります。	税務課

基本施策	主な事業（重点事業）	事業概要	担当課
	財政管理運営事業【×】	スクラップアンドビルド(*)による経費削減や国・県と連携した財源の確保、また、ふるさと納税による自主財源の確保などで持続可能な財政運営を図り、町の維持発展を目指します。	総務課
	行政機能・行政サービス強化事業【×】	各種行政システムの保守管理、組織・職員の適正配置等により迅速・適確な対応を行い、また、町民相談室兼消費生活相談センターにおいて、住民の声を聞き、行政サービスへ反映することで、業務改善を図ります。	総務課
9 広域行政 	電子自治体推進事業【×】	電子申請をはじめとする電子自治体の推進、また、マイナンバー(*)の導入による番号法システムの構築・セキュリティ(*)を確保しながらの運用により、税や年金、雇用保険などの広域的な行政手続きの利便性を図ります。	企画情報課
	広域医療介護事業【×】	地域の中核医療機関である藤田総合病院の機能の充実を図るとともに、保健、福祉、医療等関係機関の広域的な連携協力体制の強化を図ります。	保健福祉課
	広域消防・広域衛生処理・広域火葬事業【×】	消防、衛生処理、火葬等の事務事業について、県北地域の市町との連携・共同化の推進により、広域的な社会資本の整備を図ります。	住民生活課

<用語マークの説明>

※【×】：メンテナンス業務

…メンテナンス（現状維持）業務とは、まちの維持において、すでに良好な（満足できる、納得できる）状態に達しているものごとで、町の行政の各担当部門で継続的に対応する事務事業のこと。

[事例]：ライフライン維持、衛生、安全（交通、食品、災害、犯罪）、水利、平和、移動利便性、健康維持、環境美化、初等・中等教育など

※【イ】：イノベーション業務 ⇒数値目標 KPI（重要業績評価指数）及び成果目標（最終到達点）を設定します。

…イノベーション（飛躍への挑戦）業務とは、現状に満足できない課題テーマに対する新たな活動のこと。

[事例]：人口流出抑制、流入人口飛躍的增加、人口激減抑制、農林水産業の自立・活性化、雇用対策、高齢者対策（介護負担、医療費増）、環境蘇生（温暖化防止）など

※ ☆：地方創生重点事業

…「国見町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年10月策定）」の4つの目標・8つのプロジェクトに位置付けられた重点事業

用語の説明

I. 地域資源を活かしたまち

* ブランディング

顧客の視点から発想し、ブランドに対する共感や信頼など顧客にとっての価値を高めていく企業と組織のマーケティング戦略のひとつで、ブランドとして認知されていないものをブランドへ育て上げる、あるいはブランド構成要素を強化し活性・維持管理していくこと、またその手法のこと。

* リサイクル

資源の有効利用や公害防止のために、不用品・廃物を再生して利用すること。「リデュース（ごみ発生抑制）」・「リユース（再使用）」・「リサイクル（再生利用）」をあわせて「3R」という。）

* ゼロエミッション

企業や産業から出る廃棄物を他に再利用することで、最終的に全体の廃棄物をゼロにしていくこと。

* IJJターン

- ・Iターン…地方から都市へ、または都市から地方へ移住すること。
- ・Uターン…地方から都市へ移住したあと、再び地方へ移住すること。
- ・Jターン…地方から大規模な都市へ移住したあと、地方近くの中規模な都市へ移住すること。

* デマンド型乗合タクシー

ドア・ツー・ドアの送迎を行うタクシーに準じた利便性と、乗合・低料金というバスに準じた特徴を兼ね備えた移動サービスのこと。

* コミュニティバス

地域住民の移動手段を確保するために地方自治等が実施するバスのこと。

* コンパクトシティ

都市的土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に中心市街地の活性化が図られた、生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市、もしくはそれを目指した都市政策のこと。

* 立地適正化計画

居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により、都市全域を見渡したマスタープラン（基本計画）として位置付けられる市町村マスタープランの高度化版のこと。

* リノベーション

既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えること。

* コミュニティビジネス

地域が抱える課題を地域資源を活かしながらビジネス的な手法によって解決しようとする事業のこと。

* キャリア教育

キャリア（経験）を活かして、現在や将来を見据えることなどを主眼として行われる教育のこと。

* マーケティング

企業などの組織が行うあらゆる活動のうち、「顧客が真に求める商品やサービスを作り、その情報を届け、顧客がその価値を効果的に得られるようにする」ための概念、また、顧客のニーズを解明し、顧客価値を生み出すための経営哲学、戦略、仕組み、プロセスのこと。

用語の説明

*プロモーション

コミュニケーションの一部であり、製品、サービスにたいする意識や関心を高め、購買を促進するメッセージ（宣伝、販売促進活動など）のこと。

*RESAS

内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）及び経済産業省により開発されたビッグデータを活用した地域経済分析システムのこと。

*ツーリズム

観光旅行のこと。

*グリーンツーリズム

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。

*ヘルスツーリズム

医学的な根拠に基づく健康回復や維持、増進につながる観光のこと。

*エコミュージアム

エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）とをつなぎ合わせた造語で、ある一定の地域において、住民の参加によって、その地域で受け継がれてきた自然や文化、生活様式を含めた環境を、総体として持続可能な方法で研究・保存・展示・活用していくという考え方、またその実践のこと。

Ⅱ. 人が輝くまち

*ウッドスタート

赤ちゃんが木と触れ合う環境を整えることで、赤ちゃん自身や子育てする人が木のよさを知り、豊かな子育てを実現することを目指す活動のこと。

*データヘルス計画

レセプト等（医療費データや健診情報等）のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画のこと。（すべての健康保険組合は平成27年度からの実施を国から求められています。）

*レセプト

患者が受けた診療について、医療機関が保険者（市町村や健康保険組合等）に請求する医療報酬の明細書のこと。

*アクティブシニア

団塊世代を中心に、自分なりの価値観を持つ元気な世代であり、年齢に関係なく仕事や趣味に非常に意欲的で、社会に対しても積極的に行動するシニアのこと。

*コミュニティ・スクール

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みのこと。

用語の説明

Ⅲ. 交流と連携のまち

*モニタリング

状態を監視、観察、観測、測定、検査、傍受、追跡すること。

*地域デザイン

地域が抱える様々な問題に、そこに住む人たち自身が「コミュニティ」をつくりしっかり向き合うことで、自分たち自身で解決していく、「持続性あるしくみ」をつくっていくためのデザイン（設計・計画）のこと。

*ガイダンス

案内、手引き、またそのための催しのこと。

*スキル

教養や訓練を通して獲得した能力のこと。

*タイムリー

時勢、時期に合っていること。

*ファイナンシャルプランナー

顧客である個人から、収支・負債・家族構成・資産状況などのソース提供を受け、それを基に住居・教育・老後など将来のライフプランニングに即した資金計画やアドバイスを行う職業・職種、およびその職に就く者のこと。

*スクラップアンドビルド

非効率な行政機構（機能）を廃止し、新しい行政機構（機能）に置き換えることによって、行政機構（機能）の集中化、効率化などを実現すること。

*マイナンバー

国家が国民ひとりひとりに番号を割り当て、個人の所得や年金、納税などの情報を1つの番号にひも付けて管理する目的でつくられる「共通番号制度」のこと。

*セキュリティ

人、住居、地域社会、国家、組織、資産などを対象とした、害からの保護のこと。

計画策定の経過

月 日	会議等	主な内容
平成 27 年 6 月 19 日	第 7 回国見町振興計画審議会①	後期計画見直しスケジュール
平成 27 年 9 月 1 日	町民意識調査 (9/1~15)	町内在住の満 18 歳以上の 2,000 人対象
平成 27 年 9 月 12 日 10 月 17 日 11 月 7 日	くにみ未来まちづくりワークショップ 【小学生 9/12、10/17、11/7】 【中学生 11/7】	国見小学生 23 名 県北中学生 20 名 桜の聖母短期大学福島学履修生 30 名
平成 27 年 10 月 28 日	第 8 回国見町振興計画審議会②	後期計画見直しイメージ
平成 27 年 11 月 28 日	国見町教育フォーラム 2015	くにみ未来まちづくりワークショップ成果発表
平成 27 年 12 月 16 日	第 1 回国見町振興計画審議会検討部会	基本構想・基本計画（素案） 町民意識調査及びくにみ未来まちづくりワークショップ結果報告
平成 28 年 1 月 21 日	1 月議員懇談会	基本構想・基本計画（素案）説明
平成 28 年 1 月 29 日	第 2 回国見町振興計画審議会検討部会	基本構想・基本計画（案）
平成 28 年 2 月 19 日	2 月議員懇談会	基本構想・基本計画（案）説明
平成 28 年 2 月 23 日	第 9 回国見町振興計画審議会③ 国見町振興計画審議会から町へ建議	基本構想・基本計画（最終案）
平成 28 年 3 月 8 日	国見町議会 3 月定例会	議決

(1) 国見町振興計画審議会での審議

外部の第三者機関（附属機関）として、住民代表及び有識者による「国見町振興計画審議会」において、会長：福島大学行政政策学類岩崎由美子教授のもと、全体会議 3 回、検討部会 2 回開催し、協議を重ねてきました。平成 28 年 2 月 23 日の審議会終了後に、岩崎会長より町長に対して「第 5 次国見町振興計画（後期計画）」について、審議会としての建議を提出いただきました。

(2) 国見町議会での審議

平成28年1月21日及び2月19日の議員懇談会における概要説明と意見交換を経て、平成28年3月8日に国見町議会3月定例会において、賛成多数で議決されました。

(3) 町民意識調査の実施

振興計画の策定にあたり、町民の皆さんの町の政策や施策についてのご意見や生活の実態、問題意識等をお尋ねし、まちづくりの現状や課題を明らかにするために、平成27年9月1日～15日にかけて「町民意識調査」を実施しました。

この調査は、町内に住む満18歳以上の2,000人の方を無作為に選ばせていただき、協力を依頼し、全体で861人の方から回答（回答率43.1%）をいただきました。

(4) くにみ未来まちづくりワークショップの開催

これからの魅力あるまちづくりに向けて、次代を担う子どもたちによる「くにみ未来まちづくりワークショップ」を開催し（平成27年9月12日、10月17日、11月7日開催）、国見町の将来像について、子どもたちの柔軟な発想、意見を計画づくりの参考としました。

この取組みにあたり、桜の聖母短期大学の協力をいただき、短大生がファシリテーターとして参加し、小中学生と一緒に国見町の未来について考え、話し合い、それぞれのテーマ（国見バーガー、義経まつり、自然、くだもの、ももたん、防壁、例大祭など）を設定し、「マインドマップ」を作成しました。

平成27年11月28日に開催した「国見町教育フォーラム2015」において、「子どもたちが考える～キラキラくにみ～」と題して、ワークショップで話し合ってきた「国見町のいいところや国見町がどんなまちになってほしいか」について、各班ごと（小学生6班・中学生4班）に発表を行いました。



【国見町振興計画審議会委員名簿】

	氏名	団体等役職名	備考
◎附属機関の委員			
1	杉本 洋文	国見町都市計画審議会会長	東海大学工学部教授
2	八巻 忠一	国見町民生児童委員協議会会長	
3	高橋 弘信	国見町社会教育委員	
4	寺島 長司	国見町地域福祉推進協議会会長	社会医療法人秀公会 あづま脳神経外科病院理事事務局長
5	後藤 邦彦	国見町町内会長連絡協議会会長	
6	佐藤 富子	国見町介護保険運営協議会会長	
7	二瓶 由美子	(前)国見町少子化対策協議会会長	桜の聖母短期大学 図書館情報センター長・教授
8	柴田 千賀子	国見町子ども・子育て支援推進協議会副会長	桜の聖母短期大学 生活科学科福祉こども専攻准教授
◎識見を有する委員			
9	岩崎 由美子(会長)	国見町活力あるまちづくり検討委員会副会長	福島大学行政政策学類教授
10	山崎 智之	国見町活力あるまちづくり検討委員会委員	日本政策投資銀行東北支店 東北復興支援室課長
11	堀川 哲男	公立藤田総合病院院長	
◎関係団体及び一般町民を代表する委員			
12	松浦 常雄	国見町議会議員	
13	渡辺 勝弘	国見町議会議員	
14	朽木 勝之(副会長)	国見町農業委員会会長	
15	高橋 幸子	国見町教育委員会教育委員長	
16	鈴木 耕治	国見町消防団長	
17	岡崎 長市	国見町商工会会長	
18	八島 富一	J A伊達みらい理事	
19	佐藤 辰雄	文化・スポーツ団体代表(国見町体育協会会長)	
20	渡辺 三喜雄	立地企業代表 (株)国見メディアデバイス工場長	

◎特別委員			
21	遠藤 智栄	地域社会デザイン・ラボ代表	地域づくり関係
22	鈴木 和隆	特定非営利活動法人うつくしま NPO ネットワーク事務局長	地域づくり関係
23	佐久間 友和	有限会社佐久間工業（前国見町商工会青年部長）	地域づくり関係
24	渋谷 憲道	青年農業者	農業関係
25	則藤 孝志	福島大学 経済経営学類特任准教授	6次化（農商工）関係
26	山際 博美	株式会社山際食彩工房代表	6次化（農商工）関係
27	黒澤 正一	早稲田大学 客員教授	起業関係
28	岡崎 俊二	福島信用金庫国見支店長	産業・雇用関係
29	三浦 崇子	日特コーセイ株式会社 管理部業務グループサブリーダー	産業・雇用関係
30	鈴木 道代	国見町主任児童委員	子育て関係
31	石井 みな子	株式会社パーティ・フォー代表取締役社長 NPO法人品じょぶ(品川女性起業家の会) 理事長	ワーク・ライフ・バランス関係

